

会議録要旨

(1) 会議の名称	第1回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会
(2) 開催日時	平成31年1月30日（水） 9：00～11：45
(3) 開催場所	北日野地区公民館 2F 講堂
(4) 出席委員氏名	南保委員、下川委員、西藤委員、石原委員、岡本委員、山田委員、美濃委員、大塚委員、平井委員、河端委員、三田村委員、酒井委員、龍田委員、小川委員
(5) 欠席委員氏名	長谷川委員
(6) 出席所管課職員氏名	福井県 交通まちづくり課 西野課長、産業政策課 久世参事 企業誘致課 谷川参事、観光営業部 藤原企画参事 都市計画課 深水主任 越前市 企画部 大蔵部長、小泉理事 建設部 伊藤部長、平野理事 建設部兼企画部 吉村特命監 建設部 辻岡理事 まちづくり・総合交通課 藤原課長 産業政策課 諸山課長、商業・観光振興課 黒田課長 都市計画課 坂川課長、江端副課長、廣瀬主幹、北川、由川
(7) 会議議題	(1) 委員の委嘱について (2) 説明事項 北陸新幹線の整備状況について 南越駅（仮称）周辺の現状について (3) 質疑応答、意見交換
(8) 傍聴者の数	13名
(9) 会議資料名称	第1回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会資料
(10) 会議の内容の要旨	(審議事項) 委員長の選出 委員長に南保委員を選任 (説明事項に対する主な意見) ○土地利用の方向性に関すること ・2023敦賀開業、大阪開業など時間軸を見据えた段階的な整備構想や5年、10年、20年、30年後の計画性を持たせることが必要ではないか。 ・ゾーニングや虫食い開発対策が大事になる。 ・民間事業者の活力が必要になる。 ・市場調査が必要ではないか。 ・農地に囲まれているなら、農業の付加価値を高めるなどいろいろな視点から検討する必要がある。

(10) 会議の内容
の要旨

○まちづくり計画に関すること

- ・現状分析で終わらず、現実性のある計画にしなければならない。
- ・ビジョンを明確にする必要がある。
- ・地域住民が腹落ちするものにしてほしい。
- ・核になる議論を先行していく必要がある。
- ・次の代に誇れるものに。
- ・越前市のいいところを発信できるといい。
- ・駅を核として地区内のスポットを線で結べるとよい。
- ・住民の意見は、周辺町内から域を広げてみてはどうか。
- ・外国人という要素も取り入れることができないか。
- ・ポテンシャルのある地域で失敗は許されない。
- ・到達点は、この地域がどれだけ豊かさを掴めるかだと思う。これからの豊かさは、経済性に加えて+ α が求められる。持続可能ということも+ α の部分になると思う。

○施設に関すること

- ・核となる施設が必要。
- ・商業施設は、人口減少や e コマースの影響を受けており、事業性があるかどうか問題であり、官民連携も検討する必要がある。
- ・道の駅は、ワンストップショッピング型ではなく、ある程度の滞在型を目指してほしい。
- ・周辺の道路整備もしっかり取り組んでほしい。

○二次交通

- ・視察の研究成果を教えて欲しい。
- ・経済性の研究も必要。

○策定委員会に関すること

- ・開催頻度を増やしてほしい。
- ・幹事会の案を追認するのではなく、半分生の案を議論したい。